



## 第28回卒業証書授与式 卒業生 新たな旅立ち



3月5日(日)に第28回卒業証書授与式が行われました。今回は、コロナ前の式典にできるだけ近い形で実施することにし、出席者は卒業生、保護者(2名まで)、在校生、教職員に加え、来賓として、日頃お世話になっている学校運営協議会の委員さん方にご出席いただきました。

今年の卒業生は75名。卒業証書が一人一人に手渡された後、校長式辞、教育員会告示(石井教育長)と続き、在校生を代表して、生徒会長の若松凜太郎さんが送辞を、卒業生総代の尾上佳穂さんが答辞を述べました。また、天草市やPTAからの記念品授与では野上結愛さんと大塚由依さんが、卒業生から学校への記念品贈呈では、原田颯我さんが代表として登壇しました。

そして、最後に3年生全員で、合唱コンクールの課題曲であった「手紙」(アンジェラ・アキ作詞作曲)を合唱しました。体育館で大人数で合唱することは実に3年ぶりでした。会場全体が感動に包まれ、3年間の思い出が走馬灯のように蘇った瞬間でした。卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

「心くばり」 私は、いつも通級教室前の廊下を通るとき、教室全面に掲示してある若松優羽さんの作品を見ながら、心が安らぎました。仕事にやる気が出てきました。季節ごとに表現を工夫して作ってくれた優羽さん、ありがとうございました。



## 馬場天草市長講話 「稜南生に伝えたいこと」

2月27日(月)に馬場天草市長様にご来校いただき、「稜南中の生徒の皆さんに伝えたいこと」と題して、ご講話をいただきました。

馬場市長様は、一昨年から天草市長として本市の行政をリードしておられますが、実は稜南中学校の前身である亀川中学校の昭和58年度の卒業生であり、当時は生徒会長を務めておられたそうです。稜南中の大先輩から後輩へメッセージをいただきたいということで、今回の講話を企画しました。市長様は、中学校の勉強がその後の人生に大きな影響を与えたこと、知識を身に付け様々な体験をし本物に触れることの大切さ、天草の良さを知り天草を盛り上げてほしいという願い、そして座右の銘にしておられる言葉として「縁ありて花開き、恩ありて実を結ぶ」を挙げられ、人のために尽くすことの大切さを教えてくださいました。市長様の温かいお人柄に触れることができたすばらしい講話でした。先輩として期待しておられることも十分に感じました。馬場市長様、本当にありがとうございました。



## 立志式で2年生が新たな誓い！

2月20日(月)に2年生が立志式を行い、新たな誓いを立てました。まず、各クラスを代表して中村茉莉奈さん、竹井日輪さん、本多龍人さんが立派に誓いの言葉を述べました。

その後、河浦町で旅館を経営しておられ、町を盛り上げておられる下田貴久様にご講話をいただきました。小さいことにくよくよせずに自分らしく生きること、友達を大切にすること、天草の素晴らしさを知り、天草を好きになってほしいことなど、笑いを交えながら生徒達に話していただきました。私も、お話を聞いて元気をいただきました。下田様ありがとうございました。



## 1年生職業講話でキャリア教育

2月17日(金)に1年生を対象に職業講話を行い、将来の職業選択に向けて「仕事」に携わっておられる方々から生の声をお聞きすることができました。講師は、亀川薬局の宮口良様、レトロ美容室の若杉澄子様、サンタカミングホテルの鶴田敬子様、亀場幼稚園長の米田舞子様、農家・食生活改善推進員の山本友保様、中央消防署の山田雄喜様の6名にお願いしました。

2組の廣野鉄平君は「山本さんの話を聞いて、さつまいもは少ない土地で育てることができるのに、お米に負けないくらいの栄養があつてたくさんの人たちに喜んでもらえる作物であることを知りました。(中略)自分も山本さんのように天草の郷土料理を地域の人たちに伝えていきたいです。」と感想を述べていました。6名の皆さん、ありがとうございました。

